

教育研究業績書

氏名 加納 和雄

年 月 日現在

枚中 枚目

著書, 学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発 表の年月	発行所, 発表 雑誌又は発表 学会等の名称	概 要	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	該当 頁数
(学術論文) 1. “Two Short Glosses on Yogācāra Texts by Vairocanarakṣita: <i>Vimśikāṭikāvivṛti</i> and * <i>Dharmadharmatāvibhā ti</i> .”	単著	2008年 (実際の 刊行は 2009年) (平成20年)	<i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection</i> , Part I. Serie Orientale Roma. Orientale Roma. Roma: IsIAO	ジュッゼッペ・ツッチが1930年代 にチベットにおいて撮影した梵文 写本資料に基づいて、ヴァイロー チャナラクシタ (十一世紀) 著 『二十論註』『法法性分別論註』 の梵文校訂テキストを定め、梵文 写真とともに提示した。	Francesco Sferra (ed.)	343- 頁
2. “A Preliminary Report on Newly Identified Text Fragments in Śāradā Script from Zhwa lu Monastery in the Tucci Collection.” In: Francesco Sferra (ed.), <i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection, Part I</i> . Roma: IsIAO, 2008.	単著	2008年 (実際の 刊行は 2009年) (平成20年)	<i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection</i> , Part I. Serie Orientale Roma. Roma: IsIAO	1930年代にジュッゼッペ・ツッチ がチベットで撮影した梵文写本の 中から、4点のテキストについて の比定結果を報告し、その写真 資料を提示した。	Francesco Sferra (ed.)	381- 頁
3. 「チョムデンリクレル 『弥勒法の歴史』 —テキスト和訳—」	共著	2009年 (平成21年)	<i>Acta Tibetica et Buddhica 2</i>	近年刊行されたカダム派の古写本 集成『カダム全集第二輯』に収録 されたチョムデンリクレル著 『弥勒法の歴史』の校訂テキスト と和訳を提示し、チベットに伝え られた弥勒の五法およびその注釈 者たちについて概観した。	中村法道	119- 139 —
4. 「チョムデンリクレル 『大乘究竟論莊嚴華』 和訳および 校訂テキスト (1)」	単著	2010年 (平成22年)	『高野山大学 論叢』45	二本のチベット語古写本を使用し てチョムデンリクレルによる『宝 性論』註冒頭箇所和訳と校訂 テキストを提示し、ターラナータ によって他空派に帰されるチョム デンリクレルの如来蔵思想に 関する立場を、同書の内容分析を 通じて跡付け、この立場がトルポ バによって創始される他空説に 影響を与えた可能性を指摘した。		13- 55頁

<p>5. 「ゲンドウンチュンペー著『世界知識行・黄金の平原』第一章和訳—1930年代のチベットにおける梵文写本調査記録—(1)」</p>	<p>単著</p>	<p>2010年 (平成22年)</p>	<p>『密教文化研究所紀要』</p>	<p>1930年代にチベットにおいて膨大な梵文写本を撮影し、近代仏教学の発展に大きく貢献した、ラーフラ・サーンクリッティヤンとゲンドウンチュンペーによる梵文写本調査の実態について、旅行記の読解を通じて明らかにした。本稿ではその冒頭箇所のと訳とテキストを提示した。</p>	<p>63- 103頁</p>
<p>(新聞記事) 理趣経梵本の刊行によせて</p>	<p>単著</p>	<p>2010年 (平成22年)</p>	<p>『高野山時報』</p>	<p>2007年に苦米地等流博士によって校訂・出版された、『理趣経』梵本について内容を紹介し、文献的な価値について紹介した。</p>	
<p>(研究発表) サキヤ南寺三解脱門堂の壁画曼荼羅</p>		<p>2009年 (平成21年)</p>	<p>平成21年度密教研究会学術大会</p>	<p>サキヤ南寺の一角にある三解脱門堂壁面に描かれた、元朝に作成された、ネパール様式をよく保持する19点ほどの壁画曼荼羅について、美術史的な観点から考察し報告した。 川崎一洋氏との共同研究。</p>	
<p>近年の仏典梵文写本研究の動向—チベットおよびネパール所蔵の梵文写本を中心として—</p>		<p>2009年 (平成21年)</p>		<p>小谷信千代氏の特別部会パネル、「梵文写本研究の現状と課題」において、近年の仏典梵文写本研究の動向について、特に近年顕著な成果を上げつつある、中国、西欧、日本との国際共同研究の現状について報告した。</p>	
<p>欧米における仏教学の最近の動向—『人権に対する仏教的アプローチ』を読んで—</p>		<p>2010年 (平成22年)</p>		<p>2009年ハンブルグ大学から刊行された英文論文集『人権に対する仏教的アプローチ』を読み解き、特にチベットにおける人権問題と、仏教教理における人権問題との関連性の模索について論じた。</p>	
<p>(その他) 「1930年代のチベット寺院」</p>		<p>2010年7月</p>	<p>平成22年度密教研究会学術大会 高野山大学</p>		
<p>「インド仏教における女性観に関する研究史」</p>		<p>2011年1月</p>	<p>高野山大学 人権委員会</p>		
<p>(書評)</p>					

「新刊紹介・書評: 苦米地等 流校訂Adhyardhaśatikā Prajñāpāramitā: Sanskrit and Tibetan Texts」	2011年	『密教学研究』43	205- 223頁
(競争的資金獲得状況) 三菱財団人文科学研究助成	2010年10月～ 継続中	研究課題「西藏出土梵文写本の保存 と公開ーパトナ博物館所蔵ネガフィ ルムの電子化ー」	研究代表者
日本学術振興会科学研究 費補助金・基盤研究B	2010年4月～ 継続中	研究課題「ヴィクラマシーラ寺院の 学僧の著作群における密教思想の位 置づけに関する総合的研究」	研究分担者 〔代表・三重 大学・久間泰賢〕

※著書，学術論文，その他の別で列記してください。枠内の()の位置は分量に応じて変更してください。

*加納先生からいただいたデータでは英字部分のフォントはTimes Ext Romanを使用していました。

エクセルには無いので別のフォントを使用しています。そのため、文字化けしている可能性があります。(吉川)

研究業績一覧 Papers
(加納和雄 Kazuo Kano)

論文 Papers

2000-2004

1. 『『央掘魔羅經』の研究—全体の構成と内容概観—』、『高野山大学大学院紀要』4、2000年、57–82頁。
2. 『『宝性論』註研究(1)—Phywa pa による『宝性論』I.26 解釈—』、『印度学仏教学研究』51-2、2003年、109–111頁。
3. 「ゲッティンゲン大学所蔵ラーフラ・サーンクリトヤーヤナ撮影梵文写本 Xc14/1、Xc14/57 について」、『密教文化』212、2004年、35–54頁。

2005

4. “Padmasambhava.” In: *Die Welt des tibetischen Buddhismus*. Mitteilungen aus dem Museum für Völkerkunde Hamburg Neue Folge, Band 36. 2005. p. 691–717.
5. “Bhaiṣajyaguru und die acht Stūpas.” In: *Die Welt des tibetischen Buddhismus*. Mitteilungen aus dem Museum für Völkerkunde Hamburg Neue Folge, Band 36. 2005. p. 747–757.
6. “Buddha Śākyamuni und die acht Stūpas.” In: *Die Welt des tibetischen Buddhismus*. Mitteilungen aus dem Museum für Völkerkunde Hamburg Neue Folge, Band 36. 2005. p. 759–761.
7. “Two Folios from Sthiramati's Triṃśikābhāṣya in Sanskrit Photographed by Rāhula Sāṅkrtyāyana: Diplomatic and Critical Editions of Göttingen Xc14/1e.” *Wiener Zeitschrift für die Kunde Südasiens* 49. 2005. p. 113–149.

2006

8. 「サツジャナ著『究竟論提要』—著者および梵文写本について—」、『密教文化研究所紀要』19、2006年、28–51頁。

2007

9. 「ゴク・ロデンシェーラプ著『書簡・甘露の滴』—校訂テキストおよび

び内容概観一」、『密教文化研究所紀要』20、2007年、1-50頁。(査読あり)

2008

10. “Fragments of a Commentary on the *Tattvasaṅgraha*, Part 1,” *Newsletter of the NGMCP* 6. 2008. pp. 15-24 (collaboration with Dr. Kengo Harimoto) (査読なし)
11. “A Critical Edition and Translation of a Text Fragment from Abhayākaragupta's *Āmnāyamañjarī*: Göttingen, Cod.ms.sanscr.259b.” *Tantric Studies*, 1, 2008. pp. 22-44 (collaboration with Dr. Toru Tomabechi). (査読あり)
12. “rNgog blo ldan shes rab's Topical Outline of the *Ratnagotravibhāga* discovered at Khara Khoto.” In: Orna Almogi (ed.), *Contributions to Tibetan Literature. Proceedings of the Eleventh Seminar of the International Association for Tibetan Studies, Königswinter 2006. Beiträge zur Zentralasienforschung*, Halle: IITBS, 2008.

2009

13. 「チョムデンリクレル著『弥勒法の歴史』—テキスト和訳—」、*Acta Tibetica et Buddhica* 2、2009年、117-139頁(中村法道氏との共著)。(査読なし)
14. 「ゲッティンゲン所蔵の仏典梵文写本管見—『バンドルスキー目録』序文の和訳—」、『高野山大学論叢』44、2009年、31-63頁。(査読あり)
15. 「ツッチ・コレクションにおいて新たに比定された梵文写本テキスト断片」、『印度学仏教学研究』57-2、2009年、157-163頁。(査読あり)
16. 「ゴク・ロデンシェーラブ著『書簡・甘露の滴』—訳注篇—」、『密教文化研究所紀要』22、2009年、121-178頁。(査読あり)
17. “Two Short Glosses on Yogācāra Texts by Vairocanarakṣita: *Viṃśikāṭīkāvivṛti* and **Dharmadharmatāvibhāgavivṛti*.” In: Francesco Sferra (ed.), *Manuscripta Buddhica*, Vol. I: *Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection, Part I. Serie Orientale Roma*. Roma: IsIAO, 2008. pp. 343-380. [publ. 2009.12]. (査読あり)
18. “A Preliminary Report on Newly Identified Text Fragments in Śāradā Script from Zhwa lu Monastery in the Tucci Collection.” In: Francesco Sferra

(ed.), *Manuscripta Buddhica*, Vol. I: *Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection, Part I*. Roma: IsIAO, 2008. pp. 381-400. [publ. 2009.12] (査読あり)

2010

- 19 「チョムデンリクレル著『大乘究竟論莊嚴華』和訳および校訂テキスト(1)」、『高野山大学論叢』45、2010年、13-55頁。(査読あり)
- 20 「ゲンドウンチュンペー著『世界知識行・黄金の平原』第一章和訳—1930年代のチベットにおける梵文写本調査記録—(1)」、『密教文化研究所紀要』23、2010年、63-103頁。(査読あり)
- 21 “rNgog Blo ldan shes rab’s Position on the Buddha-nature Doctrine and its Impact on Early bKa’ gdams pa Masters.” *Journal of the International Association of Buddhist Studies* 32, 1-2. 2010. pp. 249-283. (査読あり)

2011

22. 「サキヤ南寺・三解脱門堂の歴史と壁画曼荼羅」『密教文化』224、2011年(川崎一洋氏との共著)、5-29頁。(査読あり)
- Sakya minamidera sangedatsumondō no rekishi to hekiga mandala
“rNam thar sgo gsum lha khang of the South Sakya Monastery and its Mural Mandalas.” Mikkyo Bunka 224. 2010. 5–29. (collaboration with Kazuhiro Kawasaki) (in Japanese)

2012

23. 「チベット撰述文献に伝わる真諦の九識説—ツォンカパ著『クンシカンテル』とその周辺—」『真諦三藏研究論集』、京都大学人文科学研究所、2012年3月、345-399頁。(査読なし)
24. 「インド後期密教における如来蔵への言及とその解釈—タントラ注釈書を中心として—」『密教研究』44、2012年3月、125-137頁。(査読なし)
25. 「『宝性論』弥勒著作説の下限年代再考—敦煌梵文断簡 IOL Khot S 5 と Pelliot 2740 の接合復元と年代推定—」『印度学仏教学研究』60、2012年3月、168-174頁。(査読あり)
26. 「アティシヤに由来するレティン寺旧蔵の梵文写本—1934年のチベ

ットにおける梵本調査を起点として—」『インド論理学研究Ⅳ』、2012年。123-161頁。(査読なし)

27. Eight Folios from a Sanskrit Manuscript of the Mahāyānasūtrālamkārahāṣya from Ngor Monastery: Diplomatic and Critical Editions on X.9-XI.3 —Studies of Göttingen Xc14/57 (1)—. *China Tibetology* 18, 2012. pp. 33-47 (査読なし)
28. Fragments of a Commentary on the Tattvasaṅgraha, Part 2, *Journal of Nepal Research Center* 14, 2012, pp. 5-17. (collaboration with Dr. Kengo Harimoto). (査読なし)

2013

29. 「チョムデンリクレル著『大乘究竟論莊嚴華』和訳および校訂テキスト(2) —『宝性論』I.4-22の注解—」、『高野山大学論叢』48、2013年3月、1-14頁。(査読あり)
30. 「ラトナーカラシャーンティの諸著作における如来蔵理解の二類型」、『密教文化』225、2011年(2013年7月出版)、7-35頁。(査読あり)
31. 「『大乘莊嚴經論』ゴル寺伝存貝葉写本の翻刻—第54葉: 第17章27-39偈—」、『能仁正蹟編『大乘莊嚴經論』第17章の和訳と注解—供養、師事、無量とくに悲無量—』、自照社出版、2013年、216-220頁。(査読なし)
32. 「ヴァイローチャナラクシタ作『大乘莊嚴經論』注—第17章注釈箇所テキストと試訳—」、『能仁正蹟編『大乘莊嚴經論』第17章の和訳と注解—供養、師事、無量とくに悲無量—』、自照社出版、2013年、221-257頁。(査読なし)
33. 「*Ekagāthā, Caturgāthā, Gāthādvayadhāraṇī*—11世紀のインド仏教における読誦経典—」、『密教文化』227、2011年(2013年刊行)、49-88頁。(査読あり)
34. “Further Folios from the Set of Miscellaneous Texts in Śāradā Palm-leaves from Zha lu Ri phug: A Preliminary Report Based on Photographs Preserved in the CTRC, CEL and IsIAO,” *China Tibetology* 20, 2013. pp. 30-47 (Collaboration with Ye Shaoyong & Li Xuezhong) (査読なし)
35. 「新大陸発見以前の中世インド食文化の再現—宮廷料理手引書『パーカダルパナ』をもとに—」、『公益財団法人三島海雲記念財団 平成24年度(第50回) 学術研究奨励金研究報告書【人文科学部門】』、2013、148-152頁。(“Reconstruction of medieval Indian food culture before the

discovery of New Continent—based on a cookery handbook of royal dishes, *Pākadarpaṇa*,” *Mishima Kaiun Memorial Foundation Annual Report* 50, 2013. pp. 148-152 (in Japanese)

2014

36. 「『宝性論』の展開」、下田正弘編、『シリーズ大乘仏教 第八巻「如来蔵と仏性』、春秋社、2014年、206-247頁。(査読なし)
37. “Critical Edition and Annotated Japanese Translation of Sanskrit text of the *Munimatālaṃkāra* Chapter 1 —Opening and Saṃvara Sections—,” *Mikkyo bunka* 229. 2013, pp. 37-63. (Collaboration with Dr. Li)
「梵文『牟尼意趣荘嚴』(*Munimatālaṃkāra*) 第一章の和訳と校訂—冒頭部—」、『密教文化』229、2012年(2014年2月刊行)、37-63頁(李学竹との共著)。(査読あり)
38. A Critical Edition of Rin chen bzang po's *Cakrasaṃvarābhisamaya* commentary, *Kōyasandaigaku ronsō* 49, 2014, 1-36
「リンチェンサンポ著『チャクラサンヴァラ・アビサマヤ注』—蔵文校訂テキスト—」、『高野山大学論叢』49, 1-36, 2014年2月(川崎一洋との共著)。(査読あり)
39. 「Mahāyānottaratantraparicaya—カシュミール由来の新出の『宝性論』注梵文断片—」、『印度学仏教学研究』62-2、2014年3月、152-158頁。(査読あり)
[*Mahāyānottaratantraparicaya: Sanskrit Fragments from a Newly Available Ratnagotravibhāga Commentary from Kashmir*]. *Indogaku bukkyōgaku kenkyū* 62-2, 2014, pp. 152–158.
40. Another Sanskrit folio of the *Yuktiṣaṣṭikāvṛtti* from Tibet, *ARIRAB* 17, 2014, pp. 189-194 (Collaboration with Li Xuezhu & Ye Shaoyong).
41. 「『普賢成就法』の新出梵文資料について」、『密教学研究』46、2014年、61-73頁。(査読あり)
Newly Available Sanskrit Materials of Jñānapāda's *Samantabhadrasādhana*. *Mikkyōgakukenkū* 46, 2014, pp. 61-73.
42. 「『大乘荘嚴經論』ゴル寺旧蔵貝葉の翻刻—第27葉: 第XI章14-27偈—」、(上野隆平・早島慧・間中充と共著)、『龍谷大学仏教文化研究所報』、2014年、31-54頁(査読なし)
Palm-leaf Manuscript of the Mahāyānasūtrālaṃkāra from Ngor Monastery: Folio 27: XI.14-27. *Bulletin of Research Institute for Buddhist Culture Ryukoku University* 52. 31-54. (Collaboration with Ueno, Hayashima, Kenchu; in Japanese)

43. 「梵文『牟尼意趣莊嚴』第1章末尾部分の校訂と和訳—『中觀光明』一乗論証段の梵文断片の回収—」、『密教文化』232、2014年、7-42頁（李学竹との共著）。（査読あり）
Critical Edition and Japanese Translation of Sanskrit text of the *Munimatālamkāra* Chapter 1, Ekayāna Portion (fol. 67v2-70r4): Parallel Passages in the *Madhyamakāloka*, *Mikkyō bunka* 232, 2014, pp. 7-42 (Collaboration with LI Xuezhu; in Japanese)
44. 「Ratnarakṣita 著 *Padminī* 研究資料概観」（種村隆元・加納和雄・倉西憲一共著）、『大正大学総合仏教研究所紀要』36、2014、163-176頁。
Toward a Critical Edition of Ratnarakṣita's *Padminī*: A Survey of the Textual Materials. *Annual of the Institute for Comprehensive Studies of Buddhism Taisho University* 36, 2014, 163-176 (collaboration with Tanemura, Kuranishi).
45. 「近年の初期ガンダーラ語大乘仏典写本研究について—研究紹介と雑感—」、『密教学会報』52、2014年、53-65頁。
Introduction to Recent Studies on Early Gandhāra Mahāyāna texts. *Mikkyō gakkaihō* 52, 2014, 53-65 (in Japanese).
46. Sanskrit Verses from Candrakīrti's *Triśaraṇasaptati* Cited in the *Munimatālamkāra*. *China Tibetology* 22, 2014, pp. 4–11. (Collaboration with LI Xuezhu).
47. 「写本と挿絵入装飾経」、小峰彌彦・勝崎裕彦・渡辺章悟編『般若経大全』、春秋社、2015年、409-42頁。(Manuscripts and illustrated manuscripts of *Prajñāpāramitās*, In: Sh. Watanabe, et al eds., *Hanyakyō taizen*, Shunjūsha, 2015, pp. 409-424; in Japanese)
48. 「ラトナラクシタ著『パドミニー』の冒頭偈および廻向偈」、*Acta Tibetica et Buddhica*、2014年（種村隆元、倉西憲一との共著）
Opening and Ending verses of Ratnarakṣita's *Padminī*, *Acta Tibetica et Buddhica*、2014 (Collaboration with Ryugen Tanemura and Kenichi Kuranishi)

2015

49. 「サキヤ南寺・三解脱門堂再訪—北壁面銘文を中心に—」『高野山大学論叢』50号、2015年、43–50頁。An Inscription on the Northern Wall in rNam thar sgo gsum Chapel of South Sa skya Monastery, *Kōyāsandaigaku ronsō* 50, 2015, pp. 43–50.
50. Restoration of Sanskrit text in missing leaves (fols. 2, 6, 7) of the

Abhidharmasamuccaya manuscript on the basis of the *Abhidharmasamuccayavyākhyā* manuscript. *China Tibetology* 23, 2014, pp. 53–63. (李学竹との共著)

51. Six Tibetan Translation of the *Ratnagotravibhāga*. *China Tibetology* 23, 2014, pp. 76–101.
52. 「『菩薩律義二十』の梵文断片」、『密教学会報』53、2015年3月付（李学竹、葉少勇との共著） 17–24.
Sanskrit fragments of Candragomin’s *Bodhisattvasaṃvaraviṃśikā: Verses 1–9a, 11c, and 20cd*, *Mikkyōgakukaihō* 53, 2015. 17–24 (Collaboration with Li Xuezhong and Ye Shaoyong)
- 53 「梵文校訂『牟尼意趣莊嚴』第一章(fol. 48r4–58r5)—『中觀五蘊論』にもとづく一切法の解説—」、『密教文化』234、2015年3月付、7–44頁（李学竹との共著）。（査読あり）
Critical Edition of Sanskrit text of the *Munimatālaṃkāra* Chapter 1 (fol. 48r4–58r5): Parallel Passages in Candrakīrti’s *Pañcaskandhaka*, *Mikkyō bunka* 234, 2014 (Collaboration with Li Xuezhong; in Japanese)
- 54 “Transmission of Sanskrit manuscripts from India to Tibet: In the case of a manuscript collection in possession of Atiśa Dīpaṃkaraśrījñāna.” In: Carmen Meinert (ed.), *Transfer of Buddhism Across Central Asian Networks (7th to 13th Centuries)*. Brill, 2015. 82–117. （査読あり）
- 55 Sajjana’s *Mahāyānottaratantraśāstropadeśa: Annotated Translation and A Reading Text*. *Kōyasan daigaku daigakuin kiyō* 14, 2015, 1–46. 『高野山大学大学院紀要』14、2015年3月付（2016年1月刊行）. 1–46. （査読あり）

2016

- 56 「阿闍世王經抄本の梵文写本」、『印度学仏教学研究』64-1、2016、170–176。（査読あり）
(A Sanskrit Manuscript of a Smaller Version of the *Ajātaśātrukaḥkṛtyavinodanāsūtra*. *Indogaku bukkyōgaku kenkyū* 印度学仏教学研究 No. 64-1, 2015. pp. 170-176. In Japanese)
- 57 「ラトナーカラシャーントンティ作『クスマーンジャリ』の梵文佚文」、『高野山大学論叢』51、2016。31–38頁。（査読あり）
(A Fragment of a Sanskrit Text Parallel to Ratnākaraśānti’s *Kusumāñjali*: From a Śāradā Birch-bark Codex of a Buddhist Sādhana Collection. *Kōyasan daigaku ronsō* 51, 2016. 31–38. In Japanese)

- 58 Jñānaśrīmitra on the *Ratnagotravibhāga*, *Oriental Culture* (Special Issue on Relationship between Tantric and Non-Tantric Doctrines in Late Indian Buddhism) 96 [『東洋文化』「特集 後期インド仏教における密教思想の位置づけ」], 2016, 7–48. (査読なし)
- 59 「Ratnarakṣita 著 *Padminī* 第 1 章前半—Preliminary Edition および注—」、『川崎大師研究所紀要』創刊号、2016、1–33 頁 (種村隆元、倉西憲一氏と共著)。(査読あり)
(Ratnarakṣita's *Padminī*—Preliminary Edition and Notes on the First Half of Chapter 1, *Journal of Kawasaki Daishi Institute for Buddhist Studies* 1, 2016, 1–33 [Collaboration with Ryugen Tanemura and Kenichi Kuranishi])
- 60 「梵文和訳『讚法界頌』1–51 偈」、『インド論理学研究』8, 177–201。
(Text-Critical Remarks and Annotated Japanese Translation of the *Dharmadhātustava* verses 1–51, *Indoronrigakukenyū* 8, 2015.) (査読なし)
- 61 「梵文和訳『阿毘達磨集論』(1)」、『インド学チベット学研究』19、2016、57–96 (阿毘達磨集論研究会メンバーとして参加)。(査読あり)
Annotated Japanese Translation of the *Abhidharmasamuccaya* and its *Bhāṣya* (1) (Abhidharmasamuccaya Study Group) (in Japanese), *Indogaku Chibettogaku Kenkyū*, 57–96
- 62 「梵文和訳『牟尼意趣莊嚴』——一切法解説前半部——」、『インド学チベット学研究』19、2016、139–157 (李氏、横山氏と共著)。(査読あり)
(Annotated Japanese Translation of the Sanskrit Text of the *Munimatālamkāra*: the First Half of the Sarvadharmā Section). *Indogaku Chibettogaku Kenkyū*, 139–157.
- 63 Ratnākaraśānti's Understanding of Buddha-nature, *China Tibetology* 25, 2015 (published in April 2016). 52–77 (査読なし)
- 64 「新出梵本『俱舍論安疏』(界品) 試訳(3)」、『真宗総合研究所研究紀要』33 号、2016、115–143。(共著 小谷 信千代、秋本 勝、上野 牧生、加納 和雄、福田 琢、本庄 良文、松下 俊英、松田 和信、箕浦 暁雄) (査読なし)
- 65 「食からみるインド史—中世から現代まで— 第二回」『ヴェスタ』103、2016 (共著 井坂理穂・加納和雄)
- 66 「仏典論疏の梵語題名表記にかんする覚書—中辺分別論疏および般若灯論を例として—」『密教文化』236、2016。(査読あり) (Notes on Sanskrit Titles of Buddhist Commentarial Literatures: The *Āgamānusāriṇī nāma Madhyāntavibhāgaṭīkā* and the **Prajñāpradīpā nāma Mūlamadhyamakavṛtti*)

(近刊予定)

- *Buddha-nature and Emptiness: rNgog Blo-ldan-shes-rab and a Transmission of the Ratnagotravibhāga from India to Tibet.* Vienna: WSTB, 2016.
- *Exegesis of the Ratnagotravibhāga in Kashmir*, 『高野山大学大学院紀要』 15、2016。(査読あり)
- 「カマラシーラ著『中観光明』の二諦論の梵文佚文—『牟尼意趣莊嚴』梵本校訂 fols. 58r5-60r5—」, 『密教文化』 237、2016? (李学竹と共著)。(査読あり)
- 「梵文和訳チャンドラキールティ著『金剛薩埵成就法』」, 『高野山大学論叢』, 2016年 (An annotated Japanese Translation of the Sanskrit text of Candrakīrti's *Vajrasattvasādhana*, *Kōyasandaigaku ronsō*, 2015)
- Sanskrit Verses from the *Bodhicittavivarāṇa* Cited in the *Munimatālaṃkāra*. WZKS, 2016. (Collaboration with LI Xuezhū).
- “A Preliminary Survey on Twelve Palm-leaf Folios from the Sanskrit manuscript of the *Māyājālatantra*.” *China Tibetology*, 2014. (共著)
- Toward a critical edition of rNgog Blo ldan shes rab's *Ratnagotravibhāga* commentary.

項目執筆(Articles in Encyclopedias)

「チベット仏教における瞑想法」、『仏教心理学キーワード事典』春秋社、2012年。128-131。(Meditation in Tibetan Buddhism, In: *Keywords for buddhism and psychology*, Shunjyusha, 2012, pp. 128-131. In Japanese)

“*Sarvatathāgatattvasaṃgraha*.” In: Jonathan A. Silk (ed.), *Brill's Encyclopedia of Buddhism*, Volume I: Literature and Languages, Brill, 2015. 373–381.

“*Vairocanābhisambodhi*.” In: Jonathan A. Silk (ed.), *Brill's Encyclopedia of Buddhism*, Volume I: Literature and Languages, Brill, 2015. 382–389

学位論文(BA/MA/Dissertation Thesis)

1. 「アングリマーラについての一考察」、高野山大学卒業論文、1997年。
2. 「『央掘魔羅経』の研究」、高野山大学修士論文、1999年。
A Study on the *Aṅgulimāliyasūtra*. M.A. thesis Koyasan University.
3. 「チベットにおける『宝性論』の受容と展開」、京都大学修士論文、2001年。

4. rNgog Blo-ldan-shes-rab's Summary of the Ratnagotravibhāga: The First Tibetan Commentary on a Crucial Source for the Buddha-nature Doctrine. Dissertation Thesis submitted to Hamburg University. 2006.

その他 Others

(書評 Book Review)

1. Review article on 'Gos Lo tsā ba gZhon nu dpal's Commentary on the Ratnagotravibhāgavyākhyā (Theg pa chen po rgyud bla ma'i bstan bcos kyi 'grel bshad de kho na nyid rab tu gsal ba'i me long) edited by KLAUS-DIETER MATHES. *Journal of American Oriental Society* 125.1. 2006.
2. 「新刊紹介・書評: 苦米地等流校訂 *Adhyardhaśatikā Prajñāpāramitā: Sanskrit and Tibetan Texts*」、『密教学研究』43、2011年、205-223頁。

(機関誌等の記事 Short Articles)

1. 「『理趣経』新出梵本について」『中外日報』、2009年1月。
2. 「弘法大師の原典に親しむ」『高野山教報』、2009年12月。
3. 「三国伝来の真言密教」『高野山教報』、2010年9月。
4. 「理趣経梵本の刊行によせて」『高野山時報』、2010年4月。

学会発表 Presentations

(国内における発表)

1. 「『央掘魔羅経』の研究」、平成10年度密教研究会学術大会、高野山大学、1998年6月。
2. 「『央掘魔羅経』の研究—仏性と持戒の関係をめぐって—」、平成11年度密教研究会学術大会、高野山大学、1999年6月。
3. 「『宝性論』と弥勒の五法」、平成12年度密教研究会学術大会、高野山大学、2000年6月。
4. 「チベットにおける『宝性論』註釈文献群」、平成13年度密教研究会学術大会、高野山大学、2001年6月。
5. Hevajratantra II.viii.9, 平成14年度密教研究会学術大会、高野山大学、2002年6月。
6. 「『宝性論』註研究 (I)—Phywa pa による『宝性論』I.26 解釈—」、日本印度学仏教学会第53回学術大会、東國大学校、2002年7月。
7. 「ラーフラ・サーンクリトヤーヤナ撮影写本における四点の未比定テキスト」、平成15年度密教研究会学術大会、高野山大学、2003年6月。
8. 「リンチェンサンポ著『チャクラサンヴァラアビスアマヤ註』」、平成19年度密教研究会学術大会、高野山大学、2007年7月(川崎一洋氏との共

同研究)。

9. 「ツッチ・コレクションにおいて新たに比定された梵文写本テキスト断片」、日本印度学仏教学会第 58 回学術大会、愛知学院大学、2008 年 9 月。
10. 「1930 年代のチベットにおける仏教梵文写本調査とその記録」、平成 20 年度密教研究会学術大会、高野山大学、2008 年 7 月。
11. 「サキヤ南寺・三解脱門堂の歴史と壁画曼荼羅について」(川崎一洋氏との合同研究)、平成 21 年度密教研究会学術大会、高野山大学、2009 年 7 月。
12. 「近年の仏典梵文写本研究の動向—チベットおよびネパール所蔵の梵文写本を中心として—」(梵文写本研究の現状と課題,第 60 回学術大会パネル発表報告)、日本印度学仏教学会第 60 回学術大会、大谷大学、2009 年 9 月。
13. 「欧米における仏教学の最近の動向—『人権に対する仏教的アプローチ』を読んで—」、高野山大学人権委員会、2009 年 12 月。
14. 「1930 年代のチベット寺院における梵文写本調査」、平成 22 年度密教研究会学術大会、高野山大学、2010 年 7 月。
15. 「インド仏教における女性観に関する研究史」、高野山大学人権委員会、2011 年 1 月。
16. 「敦煌出土梵文断片にみる『宝性論』の引用—IOL Khot S 5 と Pelliot 2740—」、平成 23 年度密教研究会学術大会、高野山大学、2011 年 7 月。
17. 「『宝性論』弥勒著作説の下限年代再考—敦煌梵文断簡 IOL Khot S 5 と Pelliot 2740 の接合復元と年代推定—」、日本印度学仏教学会第 62 回学術大会、龍谷大学、2011 年 9 月。
18. 「インド後期密教における如来蔵への言及とその解釈—タントラ注釈書を中心として—」、第 44 回日本密教学会、2011 年 10 月。
19. 「チベット伝存梵文写本に残る密教典籍をめぐる近年の研究動向」、平成 24 年度密教研究会学術大会、高野山大学、2012 年、6 月 8 日。
20. 「チベット伝存の仏典梵文写本の由来・伝播および近年の研究動向」、密教文化研究所、2013 年 1 月 17 日。
21. 「チベット鉄道延長工事の現況とその背景」、高野山大学人権委員会、2013 年 1 月。
22. 「中世インドの宮廷料理再現の試み—梵文調理手引書『パーカダルパナ』をもとに—」、近現代インドにおける食文化とアイデンティティに関する複合的研究(科学研究費補助金・基盤研究 (B)代表 井坂理穂)、千里朝日阪急ビル 14 階 第 3 会議室、2013 年 2 月 24 日。
23. 「カシュミールからチベットに伝わった仏典梵文写本」、平成 25 年度密

教研究会学術大会、高野山大学、2013年、7月13日。

24. 「Mahāyānottaratantraparicaya—カシュミール由来の新出の『宝性論』注梵文断片—」、日本印度学仏教学会第64回学術大会、松江、2013年9月1日。
25. 「カシュミールに流伝した密教の一断面—シャーラダー諸写本に伝存する梵文密教文献をもとに—」、日本密教学会、2013年11月1日。
26. 「チベット語史料・伝記類に言及されるチベット伝世梵文写本—ターラナータ、シトウ、ゲンドウンチュンペーを中心に—」、高野山密教研究会、高野山大学、2014年7月11日。
27. 「チベットの寺院に伝わるサンスクリット写本」、龍谷大学仏教文化研究所談話会、龍谷大学大宮学舎、2014年7月24日。
28. 「チベットに伝存するサンスクリット写本とその由来」、総合仏教研究所公開講座、大正大学（総合仏教研究所研究室1＝大正大学3号館4階）、2015年1月23日（14:50-16:20）。

平成27年度

29. 「サキヤ寺再訪—補充調査の報告—」、高野山密教研究会、高野山大学、2015年7月3日。
30. 「チベットにおける本生図—シャル寺回廊壁画を例として—」、「古典解釈の東アジア的展開」研究班、京都大学人文科学研究所、2015年7月18日。
31. スダン・シャキヤ氏「ネパールの仏教写本をめぐって—近代仏教学における写本研究とその意義—」、桂紹隆氏「仏教研究の最前線—龍谷大学から世界へ—」に対するコメント、龍谷大学大宮学舎、2015年7月23日。
32. 「阿闍世王経の佚文を含む梵文写本」、印度學佛教学会、於高野山大学、2015年9月19日
33. 「チベットに伝存するサンスクリット語の仏典」、第16回東方学院・酬仏恩講合同講演会、於法相宗大本山薬師寺 まほろば会館、2015年12月5日（土）。

平成28年度

34. 「書名はだれが決めるのか—*Prajñāpradīpāを例とした梵語仏典の書名確認の方法論的反省—」、密教研究会学術大会、2016年7月8日（金）、

高野山大学 203 号教室。

35. 「ヴィクラマシーラの六賢門をめぐる史料とその問題」、日本印度学仏教学会、2016 年 9 月 3 日（土）、東京大学。

(国際学会における発表)

1. rNgog-lo's Topical Outline of the *Ratnagotravibhāga* Discovered at Kharakhoto. The 11th Seminar of the International Association for Tibetan Studies, Bonn, 2006. 8.
2. Rāhula Sāṅkr̥tyāyana's Visits to Tibetan Monasteries in the 1930s —Tracing his footsteps with the help of his autobiography, the Meri Jivan Yatra—. Symposium of Mahāpaṇḍita Rāhula Sāṅkr̥tyāyana (1893-1963), Vienna, University Vienna, 2007. 12.
3. rNgog-lo's doctrinal position on the Buddha-nature doctrine and its impact on early bKa' gdams pa masters. The 25th International Association of Buddhist Studies Conference, Panel: Tibetan scholasticism in the 11th and 12th centuries. Atlanta, Emory University, 2008. 6.
4. Materials under preparation for *Manuscripta Buddhica* series—Eleventh century Yogācāra Works by Sajjana and Vairocanarakṣita—. International Workshop of the *Manuscripta Buddhica* Project. Naples, University of Naples L'Orientale. 2011. 5.
5. Sanskrit Cookbooks and Medieval Indian Food Culture—Focusing on the Pākadarpaṇa—. One-Day Workshop: What Do We Eat?: Food and Identity in India (University of Delhi, Janki Devi Memorial Collage). 2014.12.12.

2015 平成 27 年度

6. From Kashmir to Tibet: A set of proto-Śāradā palm leaves and two works on the *Ratnagotravibhāga*, Time: Di., 21. April 2015, 10:00-13:00, Venue: Institut für Kultur- und Geistesgeschichte Asiens, Seminarraum 1 (Apostelgasse 23, 1030 Wien), Organisation: Pascale Hugon, 2015.4.21. (http://www.ikga.oeaw.ac.at/Events/kano_workshop) [Last view: 2015.5.27]
7. The *Ratnagotravibhāga* and its Transmission to Tibet. Dharma Drum, Taipei, 2015.10.20.

2016 平成 28 年度

8. “Some Recent Manuscript Studies of Yogācāra and Abhidharma Texts.” At: The 2nd Geumgang-Taisho Joint Seminar on the Śrāvakabhūmi and Buddhist Manuscripts. Taishō University. 2016.05.28.
9. “Owners of Sanskrit Manuscripts in Tibet.” At, 14th IATS Seminar 2016, Bergen (19–25 June 2016). 25 June 2016.
10. “The Fourth Chapter of the Abhidharmakośabhāṣyaṭīkā Tattvārthā.” The 6th Beijing International Seminar on Tibetan Studies (CTRC). Panel 17: Sanskrit Manuscript and Tibet. 2016.8.3. (Joint paper with Dr. Jowita Kramer)
11. “Rare Works Quoted in the Munimatālamkāra: with Special References to Yogācāra Works.” The 6th Beijing International Seminar on Tibetan Studies (CTRC). Panel 17: Sanskrit Manuscript and Tibet. 2016.8.4. (Joint paper with Dr. Li Xuezhū)
12. Reception of the Ratnagotravibhāga in India. International Conference on the Tathāgatagarbha or Buddha-nature Thought—Its Formation, Reception, and Transformation in India, East Asia, and Tibet—August 6–7, 2016, Seoul, Korea
13. “Some Problems of Inclusivism Regarding Pragmatic Functions of the Buddha-nature Teachings.” At International Conference “Pluralism in Mahayana Buddhism: Strategies of Demarcation, Inclusivism and Tolerance.” Tsukuba University, September 14–15, 2016.
15. “Sanskrit manuscripts and their transmission in Tibet (TAR).” International Conference: Recent Trends in Buddhist Research. Buddhist Resource and Research Center, Zhejiang University. Co-sponsors: Harvard-Yenching Institute; Inner Asian and Altaic Studies program, Harvard University. Venue: Qizhen Hotel, Zijingang Campus, Zhejiang University, Hangzhou, P.R. China. October 21–24/25, 2016
16. Tronto University, MacMasta University. March 2–3, 2017.

競争的資金獲得状況（代表）

1. 日本学術振興会・特別研究員 PD（研究課題「チベットにおける『宝性論』の受容と展開」）。2006年4月～2008年3月。
2. 日本学術振興会科学研究費補助金・若手スタートアップ（研究課題「西藏出土梵文写本研究、ゲッティンゲンコレクションの網羅的解明」20820060）。2008年～2010年（研究代表者）。
3. 三菱財団人文科学研究助成（研究課題「西藏出土梵文写本の保存と公開—パトナ博物館所蔵ネガフィルムの電子化—」）。2010年10月～2012年3月（研究代表者）。（90万円）
4. 日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究 B（研究課題「チベット伝来梵文仏典写本を用いたインド・チベット文化交渉史の総合的解明」23720030）。2011年4月～2015年3月（研究代表者）。
5. 三島学術財団（研究課題「新大陸発見以前の中世インド食文化の再現—宮廷料理手引書『パーカダルパナ』をもとに—」）。2012年7月～2013年6月（研究代表者）（70万円）。
6. 平成二十七年度公益財団法人中村元東方研究所アジア諸国海外研究調査・助成（研究課題「チベットに伝存する仏典のサンスクリット写本解読のための共同研究」）、2015年8月10日～9月7日（研究代表者）（30万円）。
7. 平和中島財団 2016(平成28)年度アジア地域重点学術研究助成、課題名「チベット伝存梵文仏典写本の日中提携研究に向けて：中国蔵学研究中心所蔵『牟尼意趣莊嚴論』第一章の校訂」、2016年4月～2017年3月（研究代表者）（142万円）。

競争的資金獲得状況（分担）

6. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 B（研究課題「ヴィクラマシーラ寺院の学僧の著作群における密教思想の位置づけに関する総合的研究」22320014）2010年4月～（継続中）（研究分担者〔代表・三重大学・久間泰賢〕）。
7. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 C（研究課題「チベット仏教寺院補修作業のための基礎データ集成の作成と公開—現状記録と原型再現—」23520075）2011年4月～2014年3月（研究分担者〔代表・高野山大学・奥山直司〕）。
8. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 C（研究課題「リソース間連携を考慮したサンスクリット写本データベースの構築に関する基礎

- 研究」24520060) 2011年4月～2015年3月(継続中)(研究分担者〔代表・一般財団法人人文情報学研究所 苜米地 等流〕)。
9. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 B (研究課題「仏典における認識機序記述の研究—最初期から大乘期に至る記述の構造的把握を通して」25284014) 2013年4月～2016年3月(継続中)(研究分担者〔代表・関西外国語大学・外国語学部・教授・中谷 英明〕)。
 10. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 C (研究課題「スティラマティの俱舎論注釈書『真実義』梵本写本第一章の研究」25370062) 2013年4月～2017年3月(継続中)(研究分担者〔代表・大谷大学・文学部・名誉教授・小谷 信千代〕)。
 11. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 C (研究課題「註釈文献から見た後期インド密教における教理と実践の関係に関する研究」25370059) 2013年4月～2016年3月(継続中)(研究分担者〔代表・大正大学・総合仏教研究・研究員・種村 隆元〕)。
 12. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 B (研究課題「密教思想と他の仏教思想との関係性～ヴィクラマシーラ寺院の学僧の著作群を中心に～」14500218) 2014年4月～2018年(継続中)(研究分担者〔代表・三重大学・久間泰賢〕)。
 13. 事業名：二国間交流事業、相手国： インド との共同研究(振興会対応機関： ICSSR)、共同研究課題名： 南アジアにおける食と身体をめぐる認識—中世から現代までの料理本の分析を通じて—、共同研究代表者部局・職・氏名： 大学院総合文化研究科・准教授・井坂理穂
 14. 日本学術振興会科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(研究課題「中国西藏自治区に保存されたインド語唯識文献写本探求」16K13154) 2016年4月～2019年3月。(研究分担者〔研究代表者・佛教大学・松田和信〕)